

議題（3）コミュニティバスにおける利用者属性の取得について

1 内容

従来は一般乗客と車いす利用者のみを利用者属性としていたが、バス車内搭載の乗降カウントシステムを改修し、より詳細な利用者属性を取得する。取得したデータは、のりつぎ券の利用状況の把握や路線特性の分析に資する。

2 取得する利用者属性の種類

現金及び電子マネー利用者、定期券及び一日券利用者、のりつぎ券利用者、車いす利用者、無料対象者（車いす利用者以外の障害者手帳所持者等）

3 取得方法

バス運転手が停車中に操作する乗降カウントシステムの降車人数ボタンの種類を追加し、乗客の降車時に該当するボタンを押下する。

4 取得開始予定日

令和5年10月1日

5 乗降カウントシステムのイメージ図



6 その他

年齢層や性別などは、ボタンの細分化による運転手の負担増加等から分類しないこととした。また、同じ理由から利用者属性の種類はなるべく少なくまとめた。なお、導入にあたり運行委託先の3事業者と内容調整済み。